本部　　「横浜川崎地区　青年の主張･活動実績発表会」

９月25日、『JAセレサ川崎本店 セレサホール飛翔』にて横浜川崎地区青年の主張･活動実績発表会が開催されました。
青年の主張の部は、横浜からは2人、川崎からは1人で合計3名が発表しました。発表者のそれぞれが一生懸命練習してきたことが伝わってくる、力強い堂々とした発表でした。
発表の後には、講評も行われました。その講評結果を受け、ここから更に練習や内容の変更を重ね、自身の納得のいく文章に仕上げて、10月17日に『県民ホール』で開催されるかながわFARM21に臨んでいただきたいと思います。
また、青年の主張が終わった後には、中央会職員の丸岡さんによる講習会が行われました。
テーマは「これまでのJAこれからのJA」。今と昔の食農環境の変化やJAの基本、また担い手不足による農業のマイノリティー化など、これから直面する課題をわかりやすく説明していただきました。
今回の講習会を受けて、改めてJAという組織のことを知るきっかけになった人も多かったと思います。

青年の主張の部
JA横浜
長澤 佑典（新田支部）「仲間と共に―地産地消と次世代への教育を―」
杉山 智洋（中川支部）「横浜で農業するのは何のため」
JAセレサ川崎
上原 脩太（菅支部）「今出せる100%を」

保土ケ谷　　「決勝戦は保土ケ谷対決」

保土ケ谷支部はA・Bチームで出場しました。
５月から早朝練習で汗を流し、着実に準備をしてきた成果が現れ、両チームとも順当に勝ち進み、『きたグラウンド』決勝戦は保土ケ谷A対Bとなり、Bチームが優勝をして、９月８日に開催される県大会の出場が決まりました。
大会の後は、天王町にある『龍海閣』にて打ち上げを行い、楽しい夜となりました。
応援の皆さん、部員の皆さん、選手宣誓をしていただいた藤巻寛之支部長、酷暑の中、大変お疲れ様でした。
県大会も良い結果が出せるよう、仲間全員で挑んできます。

新田　　「いいぞ！いいぞ！ユウスケ」

８月４日『みなみ総合センター』にて活動実績・青年の主張発表会学習会に参加しました。
新田支部から長澤佑典部員が青年の主張を発表しました。内容は地産地消、仲間、次世代への教育が中心としたテーマです。地元愛があふれる男の生い立ちから今現在の取り組み、そして次世代への継承をどのようにして考えていくかをアツく語ってくれました。大人数を前にしての発表は初であったのにもかかわらず、堂々として尚且つ聞き取りやすい発表をしてくださりました。長澤部員は仕事等で忙しい中、真面目に本気で取り組んできたことが、皆様にも伝わったと感じております。
発表後のアンケートでは、建設的な意見もたくさんいただけたようで今後よりよいものを作っていくための良い力となったようです。まさに発表テーマ内にもある仲間と共に更に盛り上げられたら最高ですね。

みんながHAPPY!
やるJAん横浜!

都田　　「 新たな取り組み」

現在、青壮年部都田支部では農福連携を目標に、障がい者の農業分野での活躍を通じて農業経営の発展を目指す取り組みを行っています。
その活動の一環として８月２日『社会福祉法人つづき地域活動ホームくさぶえ』の職員と枝豆収穫・調整作業を行いました。
農家として行ってほしい作業を依頼し、それらの作業をサポーターが作業分解することで数人の障がい者が役割をもって作業をするといったものです。
莢（さや）をとる人、袋に詰める人、袋のくちをとめる人などそれぞれの役割で作業をしていました。
まだ試験的な運用であるため、うまくいかないことも多いですが今後ブラッシュアップすることで農家の人手不足を解決する一助になるかもしれません。

みんながHAPPY!
やるJAの横浜!